

2022年3月22日
株式会社デファクトスタンダード

海外展開を加速する「ブランディア」 東南アジア最大級のマーケットプレイス「Shopee」マレーシアへ販売開始 タイ・台湾エリアに続き、東南アジア圏での販路を拡大

BEENOS 株式会社(東証一部 3328)の連結子会社で、日本最大級のリコマースサービス「ブランディア」を運営する株式会社デファクトスタンダード(本社:東京都大田区、代表取締役社長:仙頭健一、以下「デファクトスタンダード」)は、東南アジア最大級のマーケットプレイス「Shopee(ショッピング、<https://shopee.com/>)」のマレーシアでの販売を開始いたしました。既存のタイ・台湾エリアに続き、アジア圏の中古ブランド品需要の増加に対し、質の高い日本発の中古ブランド品を供給し、グローバルな物の循環に貢献するとともに、日本のお客様の買取額の向上へと還元していくことを目指します。



◆「Shopee」マレーシア出店について

ブランディアは、海外販売比率50%を2025年までの中期目標として海外展開を強化しています。2020年8月より東南アジア5か国で6億人以上の利用者を誇るマーケットプレイスである「Shopee」のタイ・台湾エリアで販売を開始しています。台湾エリアでは、Shopee台湾の2021年10月~12月期中古ブランド品バッグ部門では売上の新記録を達成しています。

今回販売エリアを拡大するマレーシアは、日本の古着の輸出先の主要国です。2021年は輸出量で1位となり、日本発のユーズドアイテムに親和性のある地域だとえます(※1)。台湾エリアにおけるブランドバッグカテゴリの売上の新記録達成は、中古ブランド品の需要が伸びている台湾・東南アジアのニーズを的確につかみ、質の高い商品を多く供給してきたことや、細やかなお客様対応などがけん引力となりました。Shopeeマレーシアにおいても、越境EC流通No.1(※2)のBEENOSグループのシナジーを活用するとともに、タイ・台湾エリアで培ったお客様対応や、ブランディアの仕入れ力、各国のtoC向けマーケットプレイスに出店することで集約されたグローバルデータによってアジアのお客様が求める商品を供給し、アジア圏における中古ブランド品需要の獲得を目指します。

さらに高需要地域での販売により、日本のお客様への買取価格へも反映させてまいります。

(※1)「財務省貿易統計 品別国別表 2021年12月分 品別国別表（輸出 1-12月：確々報） 11部 50-63類」より算出データより算出

(※2)国内越境EC年間流通総額 No.1

該当サイトにおける海外個人を対象とした日本から海外への年間流通総金額

東京商工リサーチ調べ（2021年5月時点）https://beenos.com/news-center/detail/20210607_bns_pr/

◆株式会社デファクトスタンダードの特徴

ブランド品宅配買取サービス「Brandear（ブランディア <https://brandear.jp/>）」は、不要になったブランド品を「ダンボールに詰めて送るだけ」で査定・買取を行うサービスです。インターネットからお申し込みいただくと届く宅配キットにお品物を詰めて送るだけの手軽さ、買取対象が約7,000ブランドという幅広さ、査定結果に納得がいかない場合には、無償でお品物を返却する安心感から、これまでに述べ300万人以上の方にご利用いただき、リコマースにおけるオンラインマーケットを拡大してきました。また、店頭で買取を行う専門店「ブランディア（<https://brandear.jp/shop>）」、リモート査定「ブランディア Bell（<https://brandear.jp/bell>）」など買取の間口を広げ、オンライン、オフライン双方の利点を活かし、常にお客様の安心と利便性の向上を目指しています。さらに国内だけでなくグローバルリコマースにおけるマーケットを積極的に開拓し、国内外で求められるアイテムをお客様に直接、適正な価格で世界で販売することにより、買取価格の向上に努めています。ブランディアは、価値ある品物を次に繋いでいく「バリューサイクル」な社会の実現を目指します。

■株式会社デファクトスタンダードの概要

- (1) 社名：株式会社デファクトスタンダード
- (2) 代表者：代表取締役社長 仙頭健一
- (3) 本店所在地：東京都大田区平和島 3-3-8 山九平和島ロジスティクスセンター 5F
- (4) 設立年月：2004年4月27日
- (5) 資本金：100百万円※BEENOS株式会社（東証一部：3328）の連結子会社です。